



平成22年6月期 第3四半期決算短信

平成22年5月10日

上場取引所 東 名

上場会社名 澁谷工業株式会社

コード番号 6340 URL <http://www.shibuya.co.jp>

代表者 (役職名) 代表取締役社長 (氏名) 澁谷 弘利

問合せ先責任者 (役職名) 常務取締役社長室長兼経理本部長 (氏名) 吉道 義明

TEL 076-262-1201

四半期報告書提出予定日 平成22年5月13日

配当支払開始予定日 —

(百万円未満切捨て)

1. 平成22年6月期第3四半期の連結業績(平成21年7月1日～平成22年3月31日)

(1) 連結経営成績(累計)

(%表示は対前年同四半期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		四半期純利益	
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%
22年6月期第3四半期	36,979	18.1	851	—	870	—	250	—
21年6月期第3四半期	31,318	—	△24	—	△137	—	△990	—

	1株当たり四半期純利益	潜在株式調整後1株当たり四半期純利益
	円 銭	円 銭
22年6月期第3四半期	9.26	—
21年6月期第3四半期	△36.65	—

(2) 連結財政状態

	総資産	純資産	自己資本比率	1株当たり純資産
	百万円	百万円	%	円 銭
22年6月期第3四半期	67,141	28,498	41.8	1,037.75
21年6月期	59,025	27,951	47.3	1,032.21

(参考) 自己資本 22年6月期第3四半期 28,042百万円 21年6月期 27,893百万円

2. 配当の状況

	1株当たり配当金				
	第1四半期末	第2四半期末	第3四半期末	期末	合計
	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭	円 銭
21年6月期	—	5.00	—	5.00	10.00
22年6月期	—	5.00	—	—	—
22年6月期 (予想)	—	—	—	5.00	10.00

(注) 配当予想の当四半期における修正の有無 無

3. 平成22年6月期の連結業績予想(平成21年7月1日～平成22年6月30日)

(%表示は対前期増減率)

	売上高		営業利益		経常利益		当期純利益		1株当たり当期純利益
	百万円	%	百万円	%	百万円	%	百万円	%	円 銭
通期	57,500	37.9	1,700	—	1,720	—	890	—	32.94

(注) 連結業績予想数値の当四半期における修正の有無 無

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動) 無

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用 有

(注)詳細は3ページ【定性的情報・財務諸表等】4. その他をご覧ください。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更(四半期連結財務諸表作成のための基本となる重要な事項等の変更に記載されるもの)

- ① 会計基準等の改正に伴う変更 有
- ② ①以外の変更 無

(4) 発行済株式数(普通株式)

① 期末発行済株式数(自己株式を含む)	22年6月期第3四半期	27,500,315株	21年6月期	27,500,315株
② 期末自己株式数	22年6月期第3四半期	477,743株	21年6月期	477,396株
③ 期中平均株式数(四半期連結累計期間)	22年6月期第3四半期	27,022,647株	21年6月期第3四半期	27,023,601株

※業績予想の適切な利用に関する説明、その他特記事項

本資料に掲載されている業績見通し等の将来に関する記述は、当社および当社グループが現在入手している情報および合理的であると判断する一定の前提に基づいておりますが、リスクや不確実性を含んでいます。実際の業績は、当社および当社グループの事業をとりまく経済情勢、市場動向など様々な要因により大きく異なる可能性があります。

定性的情報・財務諸表等

1. 連結経営成績に関する定性的情報

当第3四半期連結累計期間におけるわが国経済は、新興国の経済成長を背景とした外需に牽引され、景気は底打ちしたものの、公共投資の減少や個人消費の低迷が続き内需の回復は弱く、緩やかな拡大基調で推移しました。

このような状況のなか、当社グループは不況克服対策を継続し、コスト削減に努めました。

この結果、当第3四半期連結累計期間の売上高は369億79百万円（前年同期比18.1%増）、営業利益8億51百万円（前年同期は営業損失24百万円）、経常利益8億70百万円（前年同期は経常損失1億37百万円）、四半期純利益2億50百万円（前年同期は四半期純損失9億90百万円）となりました。

事業の種類別セグメントの業績は、次のとおりであります。

（パッケージングプラント事業）

パッケージングプラント事業において、酒類用プラントは大型プラントの受注がなかった影響を受け減少し、食品用プラントは設備需要が不況以前の状況に回復し、先送りとなっていた大型プラントの納入もあり大幅に増加しました。また、薬品・化粧品用プラントは大型プラントが次期の納入になったこともあり減少しました。

その結果、連結売上高は290億31百万円（前年同期比22.1%増）、営業利益29億69百万円（前年同期比82.7%増）となりました。

（メカトロシステム事業）

メカトロシステム事業において、半導体製造装置はLED関連のハンドラ、テーピングマシンなど海外向けが引き続き好調で大幅に増加しました。医療機器は海外向け透析装置が堅調に伸びたものの、国内向けが伸び悩み微増となりました。また、切断加工機は板金業界の回復が遅く、その影響を受け大きく減少しました。

その結果、連結売上高は75億95百万円（前年同期比0.7%増）、営業損失9億83百万円（前年同期は営業損失4億90百万円）となりました。

2. 連結財政状態に関する定性的情報

当第3四半期連結会計期間末の総資産は、前連結会計年度末比81億15百万円増の671億41百万円となりました。その主な要因は、売上債権の増加および株式会社ファブリカトヤマが新たに連結子会社となったことによるものであります。有利子負債については、前連結会計年度末比18億82百万円増の118億3百万円となりました。純資産については、少数株主持分の増加等により、前連結会計年度末比5億46百万円増の284億98百万円となり、自己資本比率は41.8%となりました。

（キャッシュ・フローの状況）

「営業活動によるキャッシュ・フロー」は、5億19百万円の資金減少（前年同期は12億30百万円の資金減少）となりました。これは主に、税金等調整前四半期純利益が8億33百万円となり、資金増加要因として非資金項目である減価償却費10億40百万円の計上、ならびに仕入債務が22億53百万円、前受金が17億78百万円それぞれ増加したものの、資金減少要因として売上債権が53億65百万円増加し、未払金及び未払費用が14億36百万円減少したことによるものであります。

「投資活動によるキャッシュ・フロー」は、10億86百万円の資金減少（前年同期は13億75百万円の資金減少）となりました。これは主に、連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出が7億56百万円あったことによるものであります。

「財務活動によるキャッシュ・フロー」は、5億44百万円の資金増加（前年同期は3億98百万円の資金増加）となりました。これは主に、借入金の増加によるものであります。

これらの結果、当第3四半期連結会計期間末における現金及び現金同等物の残高は、前連結会計年度末より10億58百万円減少し、55億93百万円となりました。

3. 連結業績予想に関する定性的情報

当期の業績予想については、平成22年2月3日に公表いたしました「業績予想の修正に関するお知らせ」の内容から変更しておりません。

4. その他

(1) 期中における重要な子会社の異動(連結範囲の変更を伴う特定子会社の異動)

該当事項はありません。

(2) 簡便な会計処理及び四半期連結財務諸表の作成に特有の会計処理の適用

① たな卸資産の評価方法

当第3四半期連結会計期間末の棚卸高の算出に関しては、実地棚卸を省略し、前連結会計年度末の実地棚卸高を基礎として合理的な方法により算定しております。

② 固定資産の減価償却費の算定方法

定率法を採用している固定資産の減価償却費については、連結会計年度に係る減価償却費の額を期間按分して算定する方法によっております。

(3) 四半期連結財務諸表作成に係る会計処理の原則・手続、表示方法等の変更

売上高及び売上原価の計上基準の変更

収益の計上基準については、従来、原則として出荷基準を適用しておりましたが、「工事契約に関する会計基準」(企業会計基準第15号 平成19年12月27日)及び「工事契約に関する会計基準の適用指針」(企業会計基準適用指針第18号 平成19年12月27日)を第1四半期連結会計期間より適用し、第1四半期連結会計期間に着手した工事契約から、進捗部分について成果の確実性が認められる工事契約については工事進行基準(工事の進捗率の見積りは原価比例法)を、その他の工事契約については工事完成基準を適用しております。

これにより、当第3四半期連結累計期間の売上高は253百万円増加し、営業利益、経常利益及び税金等調整前四半期純利益はそれぞれ34百万円増加しております。

1 【四半期連結財務諸表】
 (1) 【四半期連結貸借対照表】

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
資産の部		
流動資産		
現金及び預金	5,929	6,977
受取手形及び売掛金	21,202	14,194
製品	488	591
仕掛品	6,990	6,150
原材料及び貯蔵品	1,080	998
繰延税金資産	850	843
その他	751	817
貸倒引当金	△5	△5
流動資産合計	37,287	30,567
固定資産		
有形固定資産		
建物及び構築物(純額)	7,457	7,390
機械装置及び運搬具(純額)	1,215	1,187
土地	10,461	9,587
建設仮勘定	376	155
その他(純額)	883	830
有形固定資産合計	20,395	19,150
無形固定資産		
のれん	1,353	1,198
その他	308	308
無形固定資産合計	1,661	1,506
投資その他の資産		
投資有価証券	4,249	4,108
長期貸付金	9	11
繰延税金資産	2,889	2,961
その他	685	750
貸倒引当金	△36	△29
投資その他の資産合計	7,797	7,801
固定資産合計	29,854	28,458
資産合計	67,141	59,025

(単位：百万円)

	当第3四半期連結会計期間末 (平成22年3月31日)	前連結会計年度末に係る 要約連結貸借対照表 (平成21年6月30日)
負債の部		
流動負債		
支払手形及び買掛金	11,875	8,622
1年内償還予定の社債	60	—
短期借入金	6,641	5,610
未払法人税等	294	311
未払費用	1,678	3,036
賞与引当金	867	229
事業構造改善引当金	—	55
受注損失引当金	53	3
その他	3,834	1,617
流動負債合計	25,303	19,487
固定負債		
社債	150	—
長期借入金	4,951	4,310
退職給付引当金	7,490	6,926
役員退職慰労引当金	385	274
繰延税金負債	0	0
その他	362	75
固定負債合計	13,339	11,587
負債合計	38,643	31,074
純資産の部		
株主資本		
資本金	11,392	11,392
資本剰余金	9,842	9,842
利益剰余金	7,297	7,317
自己株式	△428	△428
株主資本合計	28,103	28,123
評価・換算差額等		
その他有価証券評価差額金	△23	△193
繰延ヘッジ損益	0	—
為替換算調整勘定	△37	△37
評価・換算差額等合計	△60	△230
少数株主持分	455	57
純資産合計	28,498	27,951
負債純資産合計	67,141	59,025

(2) 【四半期連結損益計算書】
 【第3四半期連結累計期間】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
売上高	31,318	36,979
売上原価	26,171	30,779
売上総利益	5,146	6,199
販売費及び一般管理費	5,171	5,348
営業利益又は営業損失(△)	△24	851
営業外収益		
受取利息	7	4
受取配当金	39	28
投資有価証券売却益	3	21
持分法による投資利益	7	—
固定資産賃貸料	—	48
その他	108	117
営業外収益合計	166	220
営業外費用		
支払利息	136	128
手形売却損	21	17
投資有価証券売却損	31	3
持分法による投資損失	—	0
為替差損	53	4
その他	36	46
営業外費用合計	279	201
経常利益又は経常損失(△)	△137	870
特別利益		
固定資産売却益	28	4
貸倒引当金戻入額	2	2
事業構造改善引当金戻入額	—	12
その他	0	3
特別利益合計	31	22
特別損失		
固定資産売却損	11	2
固定資産処分損	21	2
投資有価証券評価損	1,243	33
施設利用権評価損	—	13
のれん償却額	298	—
その他	0	8
特別損失合計	1,576	59
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,683	833
法人税、住民税及び事業税	383	499
法人税等調整額	△1,042	90
法人税等合計	△659	589

(単位:百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)
少数株主損失(△)	△33	△6
四半期純利益又は四半期純損失(△)	△990	250

(3) 【四半期連結キャッシュ・フロー計算書】

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
営業活動によるキャッシュ・フロー		
税金等調整前四半期純利益又は税金等調整前四半期純損失(△)	△1,683	833
減価償却費	1,116	1,040
のれん償却額	485	148
退職給付引当金の増減額(△は減少)	45	171
役員退職慰労引当金の増減額(△は減少)	△17	14
貸倒引当金の増減額(△は減少)	4	14
賞与引当金の増減額(△は減少)	526	547
事業構造改善引当金の増減額(△は減少)	—	△55
受注損失引当金の増減額(△は減少)	—	47
受取利息及び受取配当金	△48	△32
支払利息	136	128
持分法による投資損益(△は益)	△7	0
投資有価証券売却損益(△は益)	28	△17
投資有価証券評価損益(△は益)	1,243	33
売上債権の増減額(△は増加)	4,376	△5,365
前受金の増減額(△は減少)	282	1,778
たな卸資産の増減額(△は増加)	△2,100	△221
仕入債務の増減額(△は減少)	△3,110	2,253
未払金及び未払費用の増減額(△は減少)	△2,014	△1,436
その他	298	△20
小計	△436	△137
利息及び配当金の受取額	48	33
利息の支払額	△153	△128
法人税等の支払額	△688	△287
営業活動によるキャッシュ・フロー	△1,230	△519
投資活動によるキャッシュ・フロー		
定期預金の預入による支出	△661	△261
定期預金の払戻による収入	261	261
投資有価証券の取得による支出	△403	△315
投資有価証券の売却による収入	89	408
有形固定資産の取得による支出	△684	△298
有形固定資産の売却による収入	45	5
無形固定資産の取得による支出	△46	△55
無形固定資産の売却による収入	3	—
連結の範囲の変更を伴う子会社株式の取得による支出	—	△756
貸付けによる支出	—	△170
その他	18	95
投資活動によるキャッシュ・フロー	△1,375	△1,086

(単位：百万円)

	前第3四半期連結累計期間 (自 平成20年7月1日 至 平成21年3月31日)	当第3四半期連結累計期間 (自 平成21年7月1日 至 平成22年3月31日)
財務活動によるキャッシュ・フロー		
短期借入れによる収入	3,834	7,773
短期借入金の返済による支出	△2,500	△7,397
長期借入れによる収入	100	1,900
長期借入金の返済による支出	△768	△1,419
社債の償還による支出	—	△30
自己株式の増減額 (△は増加)	△0	△0
配当金の支払額	△266	△266
その他	—	△14
財務活動によるキャッシュ・フロー	398	544
現金及び現金同等物に係る換算差額	△45	2
現金及び現金同等物の増減額 (△は減少)	△2,253	△1,058
現金及び現金同等物の期首残高	8,053	6,652
現金及び現金同等物の四半期末残高	5,799	5,593

(4) 継続企業の前提に関する注記
該当事項はありません。

(5) セグメント情報

[事業の種類別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)

	パッケージング プラント事業 (百万円)	メカトロシステ ム事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高					
(1) 外部顧客に対する売上高	23,774	7,544	31,318	—	31,318
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	287	185	473	△473	—
計	24,061	7,730	31,792	△473	31,318
営業利益又は営業損失(△)	1,625	△490	1,134	△1,159	△24

当第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)

	パッケージ ングプラ ント事業 (百万円)	メカトロシ ステム事 業 (百万円)	その他の事業 (百万円)	計 (百万円)	消去又は全社 (百万円)	連結 (百万円)
売上高						
(1) 外部顧客に対する売上高	29,031	7,595	351	36,979	—	36,979
(2) セグメント間の内部売上 高又は振替高	190	237	—	428	△428	—
計	29,222	7,833	351	37,407	△428	36,979
営業利益又は営業損失(△)	2,969	△983	△49	1,935	△1,084	851

[所在地別セグメント情報]

前第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日 至平成21年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦内の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

当第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日 至平成22年3月31日)

全セグメントの売上高の合計に占める本邦内の割合が90%超であるため、所在地別セグメント情報の記載を省略しております。

〔海外売上高〕

前第3四半期連結累計期間(自平成20年7月1日至平成21年3月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	2,756	889	669	4,315
II 連結売上高(百万円)				31,318
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	8.8	2.8	2.1	13.8

当第3四半期連結累計期間(自平成21年7月1日至平成22年3月31日)

	アジア	北米	その他の地域	計
I 海外売上高(百万円)	4,914	502	695	6,112
II 連結売上高(百万円)				36,979
III 連結売上高に占める海外売上高の割合(%)	13.3	1.4	1.9	16.5

- (6) 株主資本の金額に著しい変動があった場合の注記
該当事項はありません。